

— 4 —

W&FW

「w&fw」のソックス

一枚で重ね履きの効果が期待できるコットンシルクのカバーソックス。かかとにシリコンを使用せず、土踏まずをメッシュ構造にしてフィット感を高めている。2200円／w&fw

マッシュピューティーラボ 取締役副社長
小木 充さん

男性も、フットケアをなめたらダメ。
末端で覆うソックス選びもかなり重要なんです。
肌に触れる内側がシルク、外側がコットンという
2重構造で、5本指をカバーしてくれます。
**蒸れにくく、快適なだけでなく、
臭いが全然気にならない！**
しかも脱げにくいので、こればかり履いています。

— 3 —

AURALEE

「オーラリー」のソックス

コットンにカシミアとナイロンを混紡し、ローゲージで仕立てた定番アイテム。なかでもアイボリーカラーは肌馴染みも良く、秋冬にかけて使い勝手抜群だ。各3630円／オーラリー

スタイリスト
野上翔太さん

カシミア混のリブソックスは寒い時季の相棒。
これさえあれば、冬にローテクスニーカーを
履いても暖かく快適です。
**タフな作りも特筆で、僕はかれこれ
3年間も履き続けていますが
まるでヘタっていません。**
地味ですが本当にすごいです。

— 2 —

NORDISK

「ノルディスク」のソックス

ヘビーコットンの風合いが自然な表側に比して、肌に接触する裏糸には、消臭機能を持つ繊維を使用。吸水性とクッション性も高い。各2970円／ヒュグゲストア バイ ノルディスク

MIYAMOTO SPICE 代表
宮本哲明さん

最も衝撃的だったのは、
**キャンプで一日履いていたのに
まったく臭わずじまだったこと。**
どうやら裏糸に使われているのが、NASAも
使用しているという消臭糸らしいのですが、
皆さんにも試していただきたいですね。
カラーバリエーションも豊富で
使い勝手抜群です。

— 1 —

H BEAUTY & YOUTH

「エイチ ビューティ&ユース」のソックス

通年の定番として名高いリブソックス。コットンに、適度なバランスでポリエステルやナイロンを混紡した作りは、耐久性が高くリピーターが多い。各1760円／エイチ ビューティ&ユース

スタイリスト
橋本 敦さん

靴下には結構こだわりがあって、いつもだいたい
シーズン終わりにごっそり入れ替えます。
ソックスの替えどきって難しいですね。
なかでも「エイチ ビューティ&ユース」のものは
シンプルで質が高く自分好み。
僕は白や黒、クリームがかかったオフ白などの無地派ですが、
アクセントが欲しい人はライン入りや柄など
バリエーションもあって色々選べます。



— 7 —

NUGENAI KOKOPITA

「脱げないココピタ」のソックス

70年以上レグウェアを作り続けてきたメーカーの岡本が、研究を重ね完成させた渾身のソックス。独自開発の「コの字型ストッパー」で本当に脱げない。各385円[参考価格]／岡本

アマン 取締役
藤井尚志さん

洋服を見に行っても何も買うものがないときに、ついついいいものがあると買ってしまうのがソックスです。ソックスに求めるのは、
価格、耐久性、履き心地、カラーバリエーションの豊富さ。
ココピタの浅履きフットカバーは、春夏のみ使いますが、履き口が広く、
足の甲部分が浅いスリッポンなどを履くときに最適です。
**靴下が少し見えてしまうというストレスが
これでゼロになりました。**

— 6 —

IDÉ HOMME

「イデ オム」のソックス

外からは目立たない作りになった内側5本指のカバーソックス。通気性に優れ、しっとり優しい肌触りのシルク素材を使用している。各3080円／アイ・コーポレーション

ワイルドライフテラー ショップディレクター
山内拓也さん

**5本指用の部屋が設けてあるのに
外からはそれがほとんど見えず、
靴を脱ぐ場面でも
まったく気になりません。**
長い歴史を持つメーカーらしく、蒸れずに快適なうえ、
履き心地も抜群。感動しました！

— 5 —

CORGI

「コーギー」のソックス

今でもウェールズメイドを貫く、英国王室御用達のニットメーカー。手掛けるソックスは、ソフトコットンの風合いと多色使い、スタンダードな長めのレングスが魅力だ。各4290円／ウィリー

スタイリスト
井嶋一雄さん

かつて「HAND MADE IN GREAT BRITAIN」のクレジットが
表記されていた時代のものは、
かなり大量に買い込んだ思い出があります。
**長く履いていると適度な「ヨレ」が出て、
ほかのソックスにはない味と雰囲気
生まれるのがとにかく好き。**
それもまた「英国らしいなあ」と思いながら、履き続けています。